

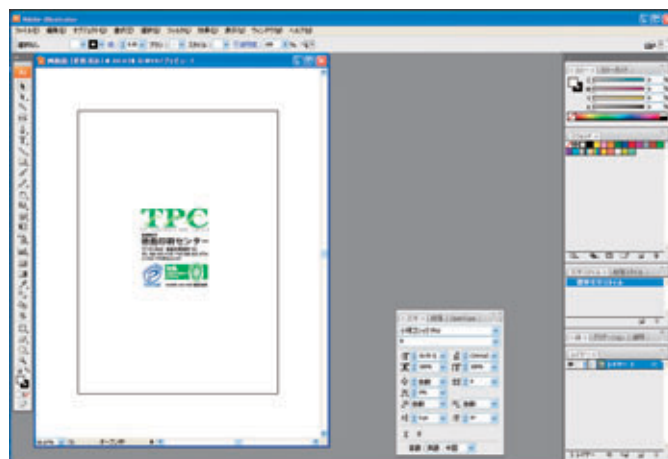
# データ作成時の注意点

## 【illustratorの場合】

[ Illustrator 8.0～CS4 ]

### 目次

1. アウトラインについて ..... P 1
2. トンボについて ..... P 2
3. カラー設定について ..... P 4
4. 貼りこみ画像について ..... P 5
  - a. カラーモードについて ..... P 5
  - b. 画像の解像度について ..... P 6
  - c. 画像の統合について ..... P 7
  - d. 塗り足しについて ..... P 8
  - e. 保存について (Photoshop) ..... P 9
5. ラインについて ..... P10
6. サイズ・塗り足しについて ..... P11
7. その他 (マスク/オーバープリント/保存/見本) について ..... P12



※例画面はウインドウズ版 illustratorCS3のものです。

#### ■ バージョンについて

当社のソフトのバージョンは以下の通りです。

- Illustrator8.0→8.0.1
- Illustrator10.0→10.0.3 (Macのみ)
- Illustrator CS11.0→11.0.1 (Winのみ)
- Illustrator CS3→13.0.3 (Mac/Win)
- Illustrator CS4 (Macのみ)

## 1. アウトラインについて

必ず文字のアウトラインをとってください

### <Illustrator CS2以降のアウトラインの取り方>

① アウトラインをかける文字を選択してください



② [書式]メニューから[アウトライン作成]を選択してください



③ 文字がアウトライン化されました



※ アウトラインした場合は名前を変えて下さい

※ 最終的にはレイヤー等全てのロックを解除し、[編集]メニューの[すべてを選択]ですべて選択してアウトライン化してください

### <Illustrator 8~Illustrator CSまでのアウトラインの取り方>

- ① アウトラインをかける文字を選択します
- ② [文字]メニューから[アウトライン作成]を選択します
- ③ 文字がアウトライン化されます

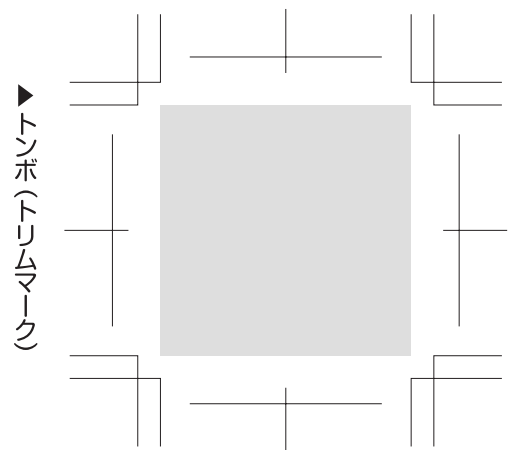
## 2. トンボについて

Illustratorデータには必ずトンボをトリムマークで付けてください

### <Illustrator 8～CS3までのトンボの付け方>

仕上がりサイズの大きさの長方形（四角）を作成し、塗り  
と線のカラーをなしにして「フィルタ」→「クリエイト」→  
「トリムマーク」を選択してください

裏面がある場合は、表裏それぞれの位置が一致するかご  
確認ください



①仕上がりサイズの大きさの長方形（四角）を作成



②塗りと線のカラーをなしにして[フィルタ]→[クリエイト]  
→[トリムマーク]を選択

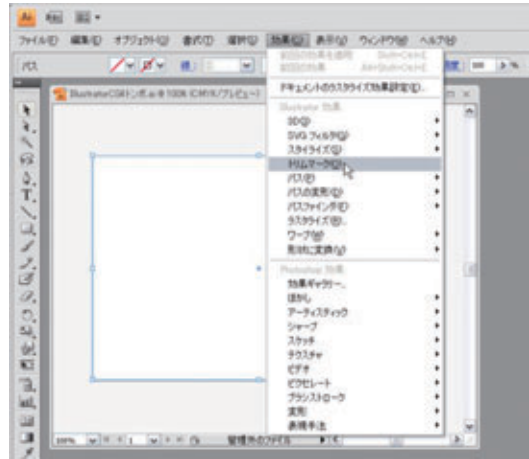


③トンボが出来ました



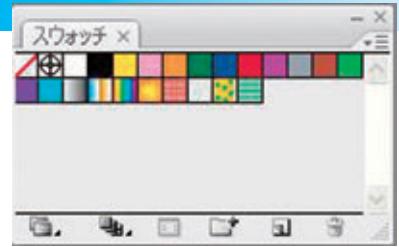
## <Illustrator CS4・CS5でのトンボの付け方>

- ①仕上がりサイズ (アートボード) に合わせて、長方形 (四角) を作成してください  
この際、必ず塗りと線のカラーはなしに設定してください
- ②作成した長方形 (四角) を選択した状態で、**【効果】** → **【トリムマーク】** を選択してください
- ③トンボが作成されます



### 3. カラー設定について

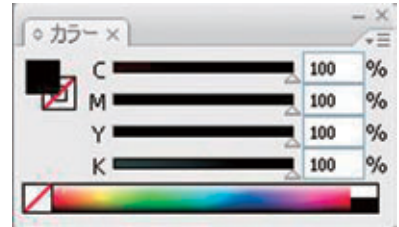
スポットカラー・特色などは使用せず、したとしても最後に必ずプロセスカラー（CMYK）に変換してください



× スポットカラー（特色）は使用しない

#### ■ 黒の表現について

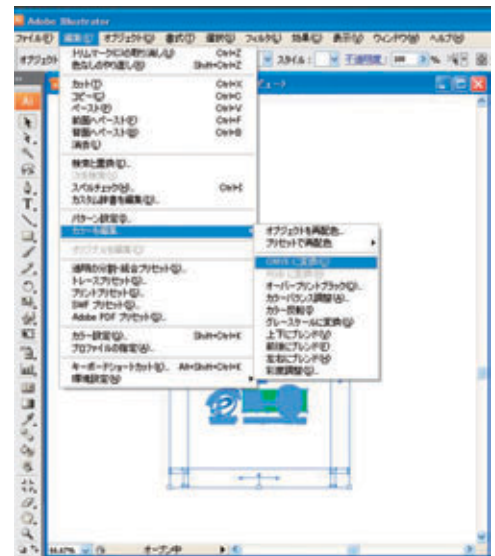
カラーで黒を表現する方法は二通りあります。一つはK100%の黒。もう一つはリッチブラックと言われるクロです。リッチブラックにすると、黒に深みが出て綺麗に仕上がります。ただ、使用したCMYKの合計が300%以内になるように設定して下さい。それ以上になりますと汚れの原因になりますのでお気をつけ下さい。また、レジストレーション指定は各色100%、合計400%の指定となりますので指定しないで下さい。



× 4色の合計値を300%以上にしない

#### <CMYK変換方法> ※Illustrator CS3の場合

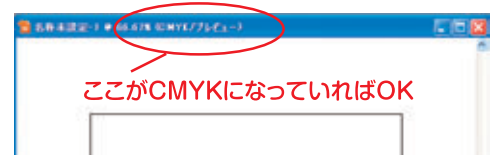
「編集」→「カラー」→「CMYKに変換」でCMYKになります



<Illustrator 8の場合> 「フィルター」→「カラー」→「CMYKに変換」  
(その他バージョンによって「CMYKに変換」が違うところにあります)

※カラー設定が、RGBになっていないかご確認ください

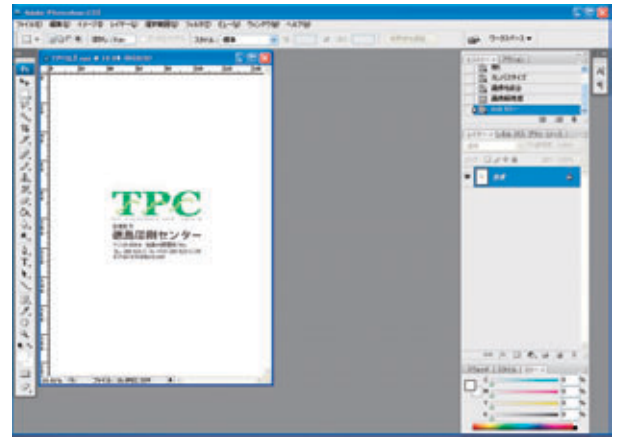
「フィルター」→「カラー」→「CMYKに変換」でCMYKに変換されます



#### 4. 貼りこみ画像について ※この項目は、photoshopを使います。 [ Photoshop 6.0～CS4 ]

##### 入稿前のチェック点

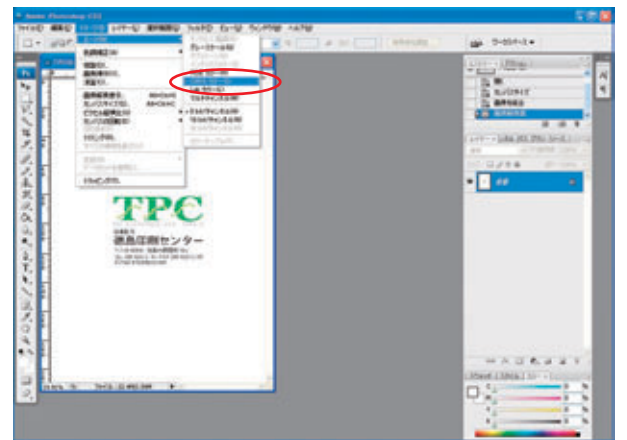
- a. カラーモードについて
- b. 画像の解像度について
- c. 画像の統合について
- d. 塗り足しについて
- e. 保存について (Photoshop)



※例画面はウインドウズ版 PhotoshopCS3のものです。

##### a. カラーモードについて

カラーデータはRGBではなくCMYKで作成してください  
モノクロの場合はグレースケールで保存してください  
「イメージ」→「モード」→「CMYKカラー」でCMYKに変換されます

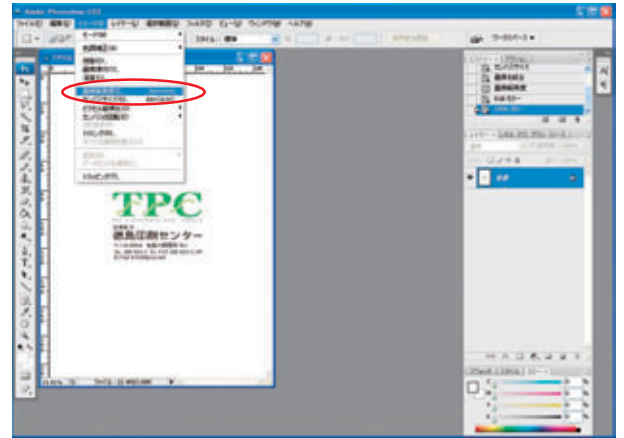


画像の名前の  
ところがCMYKに  
なっていればOK

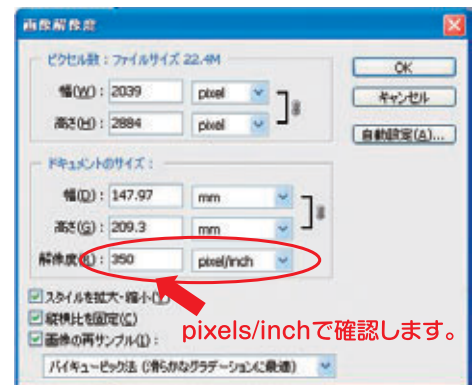
※RGBで入稿された場合、当社にてCMYKへ色変換いたしますが、色味が変わります。

## b. 画像の解像度について

「イメージ」→「画像解像度」で解像度の確認ができます



パンフ・チラシ・フライヤーなど、比較的至近距離で目を通すような印刷物の画像解像度は**300～350dpi**で作成してください



1～2m程度離れて閲覧するようなポスターなどの解像度は、100～150dpi程度でも綺麗に見えます。しかしながら、ポスターといえども十分な解像度が保持されていれば、クオリティの高い仕上がりが得られます。

Webなどで使用されている画像はほとんどが72dpiか96dpiとなっております。**原寸のままの使用や拡大しますと、粗いガタガタとした仕上がりとなってしまいますので避けてください。**

### ■ 解像度の低い画像を扱う時

元々が低い解像度の時、数値を打ち直して無理矢理解像度を上げても画像の荒さは変わりませんのでご注意ください。  
「画像の再サンプリング」のチェックを外してから解像度の数値を変更すると、ドキュメントサイズの幅と高さが一緒に変わります。低い解像度から高い数値に変更するに従って、ドキュメントのサイズは小さくなっていきます。

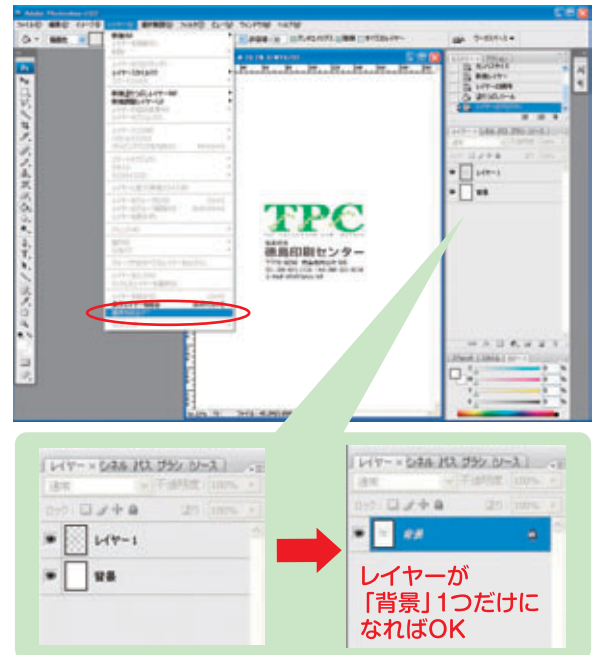


## c. 画像の統合について

### レイヤーについて

印刷に不必要なレイヤーは消去し、その後レイヤーの統合をしてください

「レイヤー」→「画像を統合」で画像の統合ができます



※レイヤーの統合を行わないと、文字情報が生きておりますので文字化けの原因となります。



## d. 塗り足しについて

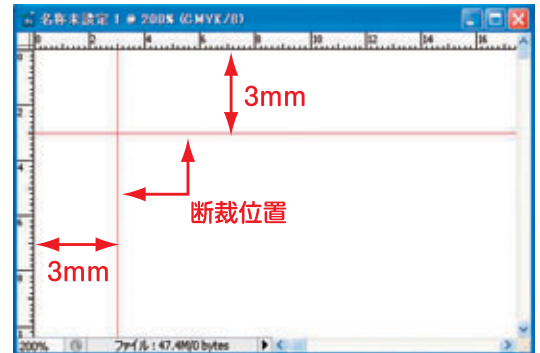
- ①新規でクリップボードを作成する際、制作したいサイズよりも上下左右3mm大きいサイズを設定してください



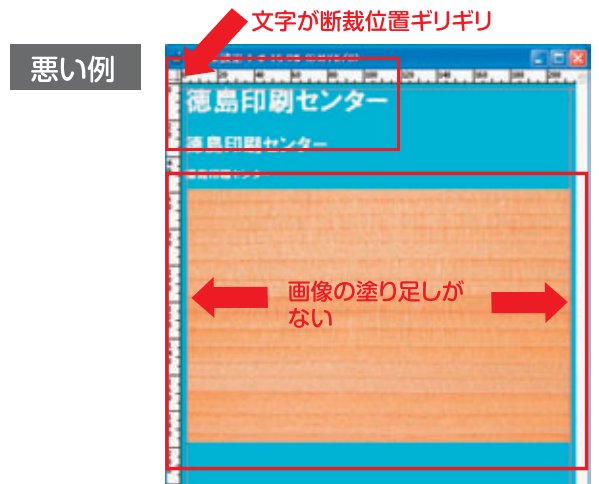
▶ A4の場合

幅(左右):3mmずつ(合計6mm)  
高さ(上下):3mmずつ(合計6mm)大きく設定します

- ②上下左右から3mmの位置にガイドを引いてください  
このガイドが断裁位置となり、これより外側が塗り足しとなります



- ③印刷物のフチまで背景色や画像がある場合には、ガイドの外まで出してください  
塗り足し部分は、断裁されてなくなりますのでご注意ください



※切れてはいけない文字や画像は断裁位置よりも3mm以上は内側に入れてください。  
断裁位置にギリギリに配置されますと切れてしまう恐れがあります。

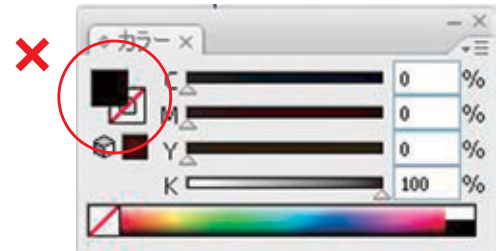
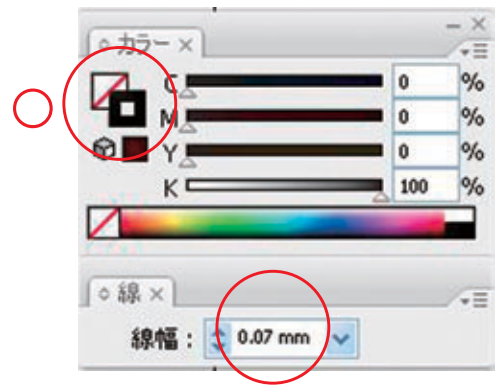


## 5. ラインについて

0.07mm (又は0.25ポイント) 以下のラインは使用しないでください

それ以下の線幅ですと、かすれたような印刷結果にしかありませんので必ず0.07mm以上で指定してください

また、パスの線は「塗り」で指定するのではなく、「線種」でカラー指定してください

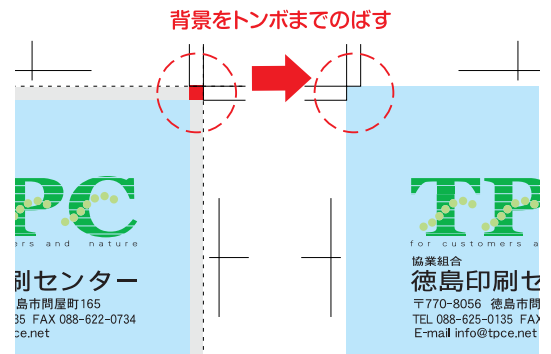


× 線種は塗りで指定しない

線幅ナシのラインをヘアラインと呼び、このラインは画面や家庭用のプリンターなどにはあるように表現してしまいます。しかしながら、CTPなど精度の高いプリンターでは出力されません。罫線は必ず線幅を指定してください。

## 6. サイズ・塗り足しについて

裁ち切り用に背景のみを天・地・左・右3mm ずつ伸ばしてください



「塗り足し」…印刷物を断裁する時、断裁時のズレにより「白」が入るのを防ぐものです。伸ばすのは背景のみで、中に入る文字などは出てしまったり、ギリギリに配置しないでください。

## 7. その他について

### マスクについて

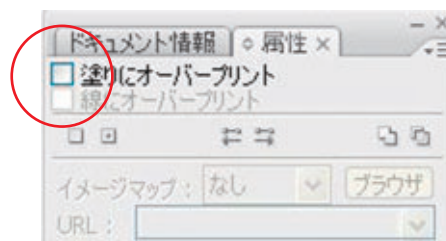
マスクに使用したオブジェクトの線の色を設定しないでください

画像などを使用したい形に切り抜く「マスク」又は「クリッピングマスク」機能ですが、使用したオブジェクトの色を指定すると、色が変わったり出なかったりしますので指定しないでください。

### オーバープリントについて

Illustratorの機能の中に「オーバープリント」がありますが、指定しないでください

チェックが入っていない状態に

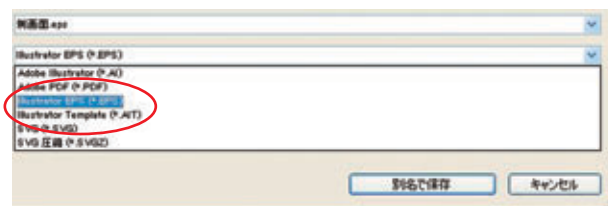


× オーバープリントは使用しない

上に乗ったオブジェクトや色、下になったオブジェクトや色も、両方とも混ぜ合わさった形で出力されるのですが、画面上ではそのままでは確認出来ず、トラブルの原因となります。

### 保存について

Illustrator形式やEPS形式のどちらでも結構ですが、今のところEPS保存が一番安定しているとされております  
保存の際は、必ず作成したバージョンで保存してください  
バージョンダウンでの保存はエラーの原因となりますのでしないでください



### 見本について

トラブルを避けるためにも、出力サンプル(カンブ)をご用意下さい。サンプルはできる限り原寸のものをご用意ください

※カンブはあくまで出力見本の参考として使用するものであり、お客様のプリンタとは出力環境が異なりますので、細かい色のニュアンスがカンブと全く同じ仕上がりになるわけではありません。予めご了承ください。